

平成 26 年度

要 覧



三学ぱる岡山

岡山県生涯学習センター



Contents

1 運営の基本方針	1
2 概 要	
1 組 織	1
2 沿 革	2
3 建設概要	3
4 施設概要	3
5 施設配置図	5
3 平成26年度事業体系	6
4 平成26年度事業計画	
1 指導者の養成と研修	7
2 学習相談・情報提供	7
3 生涯学習大学の開設	8
4 交 流	8
5 調査・研究	8
6 施設・設備の提供	8
7 科学教育の普及・推進	9
5 平成25年度事業実績	
1 指導者の養成と研修	10
2 学習相談・情報提供	13
3 生涯学習大学の開設	13
4 交 流	14
5 調査・研究	14
6 施設・設備の提供	14
7 科学教育の普及・推進	14
8 施設設備の利用状況	16
9 生涯学習情報提供システム（ばるネット岡山）	16
10 学習相談件数	17
11 AVコーナー	17
12 視聴覚教材コーナー	17
13 図書・ブラウジングコーナー	17
6 関係条例及び規則	
岡山県生涯学習センター条例	18
岡山県生涯学習センター条例施行規則	20
施設等利用料金表（平成26年4月1日～）	21

利用案内（裏表紙）

1 運営の基本方針

岡山県生涯学習センターは、県民が生涯にわたって行う学習活動を支援することを目的としている。平成22年2月に策定された第3次岡山県生涯学習推進基本計画を踏まえ、市町村や関係職員・団体等との連携を図りながら、今年度は、次の事項を重点として運営する。

また、生涯学習センター、鳥城高等学校等が連携し、児童から高齢者まで「少・壮・老」の三世代の県民が、仲間（ばる）として、楽しく学習や交流ができるゾーン（「三学ばる岡山」）づくりを目指す。

さらに、人と科学の未来館サイピアを拠点として、科学教育の普及・推進に努める。

1 生涯学習指導者の養成・研修

生涯学習推進の中核となる県・市町村の関係職員や生涯学習指導者の養成・研修を実施し、その資質の向上と指導力の充実に努める。

2 生涯学習情報提供・学習相談

県民の生涯にわたる学習活動を支援するため、広く県内外の学習情報・資料の収集整理に努めるとともに、生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」の充実に図り、情報提供や学習相談の充実に努める。

3 生涯学習大学の開設

生涯学習大学の開設等により、県民の生きがいづくり・能力開発に役立てるとともに、学習を通じて地域社会づくりに貢献できるよう学習機会の充実に努める。

4 学習者・団体相互の交流・連携

多様な分野や各年齢層の仲間が集い、活動成果の発表などの交流を通して、学習意欲を高める。

5 調査・研究

県内の生涯学習・社会教育関係の実態調査等を行い、県民の学習環境や学習ニーズを把握・分析するとともに、学習プログラムや学習成果の評価・活用などの研究・開発を行う。

6 施設・設備の利用促進

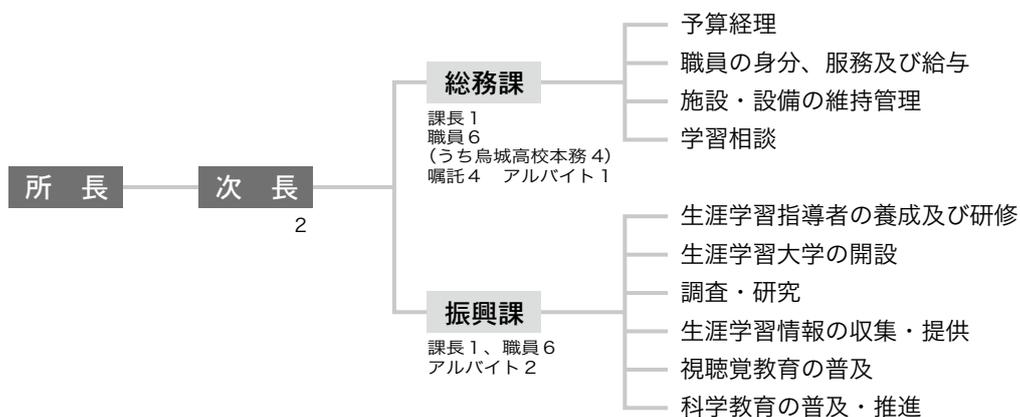
県民の自主的・主体的学習の場として、施設・設備を提供し、県内の企業、大学、各種団体と連携・協働しながら、県民の生涯学習活動を支援する。

7 科学教育の普及・推進

人と科学の未来館サイピアを拠点として、指定管理者との緊密な連携のもとに科学関連事業の充実に努める。また、科学教育にかかわる連携・協働先とのネットワークの構築を進める。

2 概要

1 組織



2 沿 革

- 平成2年1月 中央教育審議会が文部大臣に対し「生涯学習の基盤整備について」を答申。
この中で、地域の生涯学習を推進するための中心機関となる「生涯学習推進センター」について、都道府県が設置することが適当である旨を答申した。
- 平成3年4月 第4次岡山県総合福祉計画の中で、学習情報の提供、学習相談、指導者の養成等を行う生涯学習推進センターの必要性及び単位制高等学校の整備を進めることが述べられた。
- 平成4年3月 岡山県生涯学習推進会議が、「岡山県における生涯学習推進の基本的な考え方」についての意見具申の中で、県の生涯学習推進の中核施設である「生涯学習推進センター」の早急な整備を求めた。
- 平成5年3月 岡山県立短期大学跡地に、生涯学習推進センター（仮称）と単位制に改編する県立烏城高等学校を一体的に整備する「生涯学習推進センター（仮称）整備基本構想」策定
- 平成6年3月 「岡山県立短期大学跡地整備基本計画」策定
12月 「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）基本設計」完了
- 平成7年3月 「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）実施設計」完了
11月 建設工事着工
- 平成8年12月 岡山県生涯学習センター竣工
12月 12月議会において「岡山県生涯学習センター設置条例」制定
- 平成9年1月 同条例施行、機関設置
2月 岡山県生涯学習センターオープン記念式
2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」稼働
5月 岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」開設
- 平成10年2月 「県立烏城高等学校・県生涯学習センターの一体的運営に関する委員会」発足
10月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」が岡山情報ハイウェイに接続され、インターネット上で情報提供開始
- 平成12年6月 岡山県公民館連合会事務局を県教育庁生涯学習課から移管。
- 平成12年度 文部省委嘱事業「生涯学習ボランティア推進フォーラム」、「キャリア開発学習情報提供推進事業」実施
11月 岡山県生涯学習推進中核施設連絡協議会を設立
- 平成13年3月 国庫補助「情報技術学習環境整備事業」により第2パソコン教室を整備
- 平成14年2月 岡山県生涯学習センター開所5周年記念事業を実施
3月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月 「おかやま長寿学園」を「岡山県生涯学習大学」に統合
6月 岡山県公民館連合会発足50周年に伴う記念事業を実施
7月 岡山県体験活動ボランティア活動支援センターを設置
- 平成17年4月 生涯学習・社会教育担当者向けの研修をリニューアル
- 平成18年3月 岡山県生涯学習推進施設中核施設連絡協議会を解散
11月 「まなびピア岡山2007」プレフェスティバルを開所10周年記念事業と兼ねて開催
- 平成19年2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月 施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に指定管理者制度を導入
11月 「まなびピア岡山2007in三学ばる岡山」を開催
- 平成20年11月 池田動物園、県立児童会館、岡山県生涯学習センターで連携し「京山キッズゾーン」を立ち上げ、「第1回京山祭」を開催
11月 「おかやま学びフェスタ2008」を開催
- 平成21年4月 情報課を振興課に統合し新しく振興課とする。
- 平成23年3月 県立児童会館閉館
- 平成23年9月 「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）整備基本計画」策定
- 平成24年4月 「岡山県生涯学習センター運営協議会」設置
- 平成24年5月 「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）専門委員会」設置
（のちに「岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア専門委員会」に名称変更）
- 平成24年6月 岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）建設工事着手
- 平成24年10月 新施設の名称が「人と科学の未来館サイピア」に決定
- 平成25年3月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア竣工
- 平成25年4月 施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に、人と科学の未来館サイピア及び児童遊園地の運営業務、喫茶棟の利用促進業務を加えて指定管理業務を開始
岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア開館

3 建設概要

敷地面積 45,010㎡

建築面積 7,566㎡

延床面積 14,320㎡

構造規模

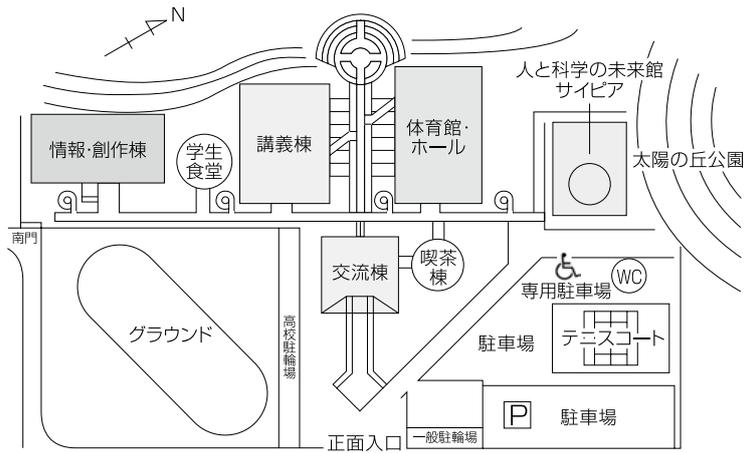
交流棟／鉄筋コンクリート造2階建 学生食堂／鉄筋コンクリート造平屋建
 情報・創作棟／鉄筋コンクリート造5階建 喫茶棟／鉄骨造平屋建
 講義棟／鉄筋コンクリート造5階建 公衆便所／鉄筋コンクリート造平屋建
 体育館／鉄筋コンクリート造2階建
 人と科学の未来館サイピア／鉄筋コンクリート造2階建
 駐車場／鉄骨造(180台)／芝生舗装(32台)

4 施設概要

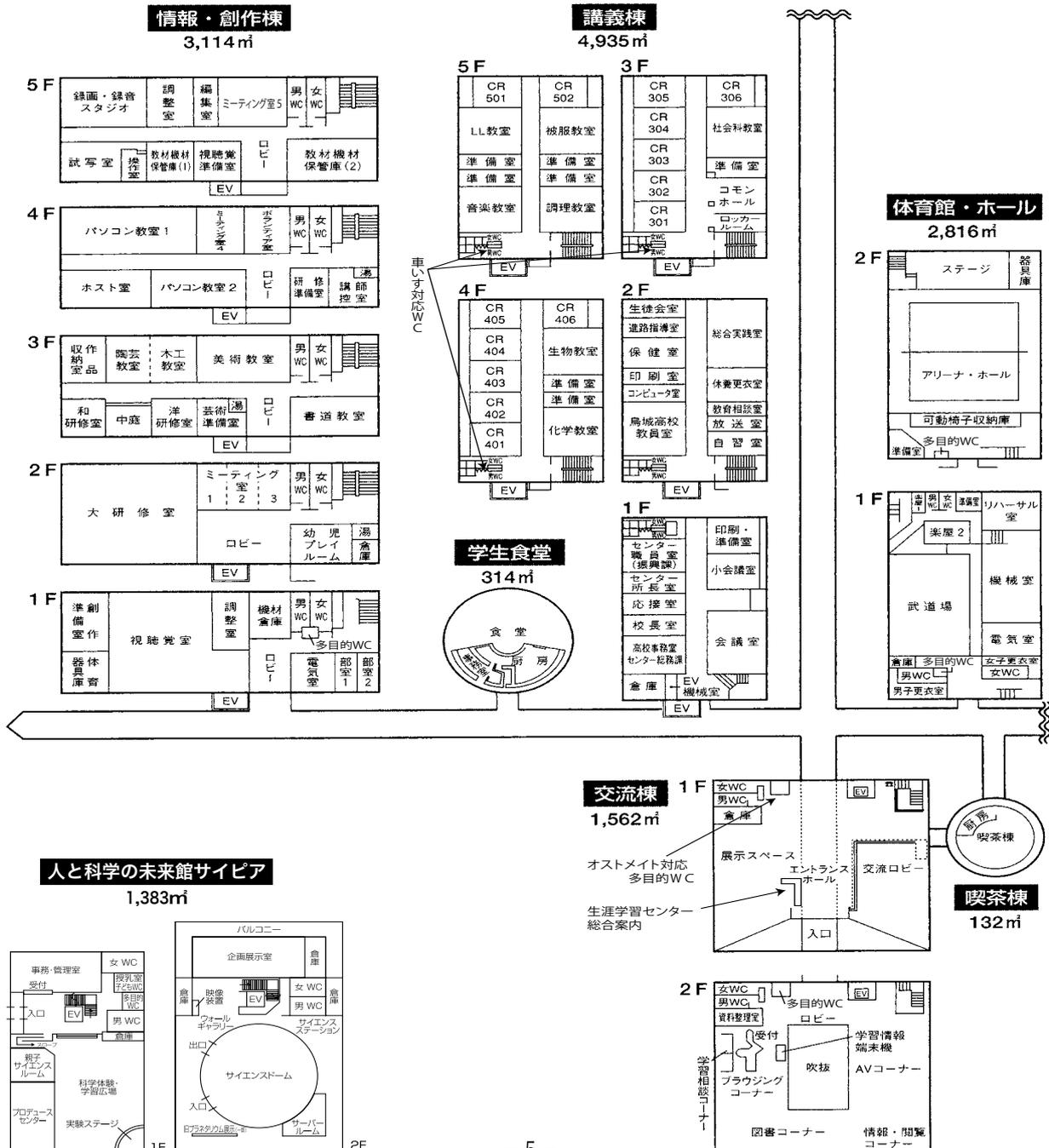
建物	階別	室名	面積	定員	主要設備内容
情報・創作棟	1階	視聴覚室	261㎡	72人	ハイビジョン対応のプロジェクター、その他各種映像再生機器
	2階	大研修室	261㎡	150人	液晶プロジェクター、簡易ステージ、プロジェクションテレビ、DVDビデオデッキ、演台、ホワイトボード、スクリーン
		ミーティング室1	28㎡	18人	ホワイトボード
		ミーティング室2	22㎡	12人	ホワイトボード
		ミーティング室3	28㎡	18人	ホワイトボード
		幼児プレイルーム	50㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、ビデオ付テレビ等
	3階	和研修室	33㎡	—	茶道用道具(有料)
		洋研修室	33㎡	12人	—
		陶芸教室	39㎡	24人	作業台、電動ろくろ等陶芸工具
		木工教室	39㎡	8人	卓上糸鋸盤等木工具
		美術教室	80㎡	35人	チャートハンガー、各種画材用具等、プロジェクションテレビ
	4階	書道教室	66㎡	32人	チャートハンガー、プロジェクションテレビ
		パソコン教室1	116㎡	40人	パソコン41台、カラープリンター
		パソコン教室2	66㎡	20人	パソコン21台、スキャナ付プリンター
		ボランティア室	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ミーティング室4	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ホスト室	66㎡	—	—
	5階	講師控室	28㎡	—	—
		録画・録音スタジオ	116㎡	—	ベータカムレコーダー等映像機器、デジタルミキサー等音声録音機器、グランドピアノ(有料)
		編集室	21㎡	—	ビデオタイター、ビデオエディティングシステム、パソコン、Hi8・VHS・DV編集機等
		ミーティング室5	58㎡	26人	ホワイトボード
講義棟	1階	試写室	66㎡	18人	プロジェクター、LD・DVDプレーヤー、Hi8・VHSビデオ、16ミリ映写機等
		校長室	40㎡	—	—
		応接室	40㎡	—	—
		事務室	75㎡	—	(高校事務室、センター総務課)
		所長室	40㎡	—	—
		センター職員室	80㎡	—	(センター振興課)
		会議室	121㎡	63人	—
		小会議室	64㎡	32人	—
印刷・準備室	64㎡	—	—		

建 物	階別	室 名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
講 義 棟	2階	教 員 室	160㎡	—	—
		コ ン ピ ュ ー タ 室	40㎡	—	—
		印 刷 室	40㎡	—	—
		保 健 室	66㎡	—	—
		進 路 指 導 室	54㎡	—	—
		生 徒 会 室	43㎡	—	—
		総 合 実 践 室	163㎡	—	パソコン 42台
		休 養 更 衣 室	80㎡	—	—
		教 育 相 談 室	40㎡	—	—
		放 送 室	40㎡	—	—
	自 習 室	80㎡	—	—	
	3階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		社 会 科 教 室	120㎡	40人	ホワイトボード
		コ モ ン ホ ー ル	80㎡	—	自動販売機、洗面台
		ロ ッ カ ー ル ー ム	80㎡	—	—
	4階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		生 物 教 室	120㎡	40人	—
		化 学 教 室	121㎡	40人	—
	5階	CR(クラスルーム)× 2	64㎡	40人	—
		L L 教 室	120㎡	40人	LLシステム
音 楽 教 室		117㎡	40人	グランドピアノ、CD等音響機器	
被 服 教 室		121㎡	40人	—	
		調 理 教 室	120㎡	40人	—
交 流 棟	1階	展 示 ス ペ ー ス	200㎡	—	生涯学習センター総合案内、展示パネル、展示ケース
		交 流 口 ビ ー	220㎡	80人	プロジェクションテレビ
	2階	A V コ ー ナ ー	160㎡	—	AVブース (10ブース)
		情 報 閲 覧 コ ー ナ ー	144㎡	—	—
		学 習 相 談 コ ー ナ ー	80㎡	—	生涯学習情報提供システム公開端末機 (2台)
		図書・ブラウジングコーナー	160㎡	—	—
体 育 館・ ホ ー ル	1階	武 道 場	336㎡	—	—
		リ ハ ー サ ル 室	93㎡	—	—
		楽 屋 1	12㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー
	楽 屋 2	25㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー	
2階	ア リ ー ナ	896㎡	500人	可動椅子500席 (有料)、各種音響・照明設備、プロジェクションテレビ、OHC	
学 生 食 堂	1階		314㎡	220人	烏城高等学校専用
喫 茶 棟	1階		132㎡	64人	(グリルばる)
グ ラ ウ ン ド			7,273㎡	—	夜間照明
テ ニ ス コ ー ト			1,254㎡	—	オムニコート2面
駐 車 場			1,751㎡	—	普通車180台、大型バス4台
			976㎡	—	普通車32台
人 と 科 学 の 未 来 館 サイピア	1階	科学体験・学習広場	237㎡		液晶プロジェクター、大型モニター、スクリーン他
		プロデュースセンター	70㎡		ホワイトボード他
		親子サイエンスルーム	33㎡		幼児用絵本、おもちゃ、各種遊具他
	2階	企 画 展 示 室	101㎡		液晶プロジェクター、スクリーン他
サイエンスドーム		176㎡	132人	投影機他	

5 施設配置図



生涯学習センター・鳥城高等学校施設内配置図



3 平成26年度事業体系

生涯学習センター事業



4 平成26年度事業計画

1 指導者の養成と研修

	事業名	主な内容	対象：定員	期間
行政職員等研修	生涯学習・社会教育関係職員研修講座初任者研修	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基礎的な知識・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質の向上を図る。また、職員間のネットワークづくりを支援する。 (第2回は、県北・県南の2会場で実施)	生涯学習・社会教育推進担当者で勤務年数が少ない方 基礎的な知識を学びたい方 等 50人	4月～5月
	生涯学習・社会教育関係職員研修講座ステップアップ研修	現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、担当者や生涯学習によるまちづくりの指導者としての力量の向上を図る。 (地区研修は備前・備中・美作地区で実施)	生涯学習・社会教育担当者 社会教育施設職員 社会教育指導員 生涯学習・社会教育推進の指導者 等 各30人	6月～ 27年1月
	社会教育施設職員等研修会	生涯学習時代における生涯学習・社会教育のあり方について研修し、指導者としての力量の向上を図る。 (岡山県公民館連合会研修会と兼ねる。)	社会教育施設職員、公民館職員、生涯学習・社会教育担当者 等	5月～ 27年1月
	公民館情報ネットワーク事業	公民館職員などを対象に、ホームページ作成や更新に関する技能研修を行い、情報発信能力の底上げとホームページ運用公民館数を増加させ、公民館の情報ネットワークを構築する。さらに、岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」と公民館ホームページをリンクさせ、県内の生涯学習情報ネットワークの構築を行う。	公民館職員、公民館ホームページ作成関係職員、教育委員会生涯学習担当職員、首長部局生涯学習関連課職員、生涯学習センター等の施設職員	11月～12月
	視聴覚ライブラリー担当者会・研修会	視聴覚ライブラリーの運営上の諸問題を話し合い、視聴覚教育の一層の向上を目指す。	視聴覚ライブラリー職員	6月
	岡山県公民館連合会研修会	公民館研究者等の講演や公民館における現代的課題についての研修を行い、職員や市町村公民館担当者の資質の向上を図る。	公民館職員、市町村教育委員会公民館担当者	5月～ 27年1月
県民指導者研修	教育支援活動コーディネーター等研修会（中央研）	学校と家庭、地域のそれぞれの関係づくりを進めるコーディネーターや、家庭教育支援を推進するリーダー等の資質向上を図る。 (学校教育支援、放課後・土曜日教育支援、家庭教育支援の3回)	学校支援コーディネーター、放課後子ども支援コーディネーター、土曜日教育コーディネーター、家庭教育支援チーム員、教職員（地域連携担当職員）等 各50人	5月～8月
	How To ボランティア！！ (学生ボランティア養成講座)	青少年のキャリアの形成、キャリアアップ支援の一環として、大学と連携しながら、ボランティア活動に興味・関心をもつ学生を対象に、活動に必要な知識、技術等を習得させるとともに、演習等とおして学んだものを生かして、生涯学習センター、人と科学の未来館サイビアで活躍する人材やそれぞれの地域や学校で活躍する人材を養成する。	県内大学生 50人	5月～ 27年2月

2 学習相談・情報提供

	事業名	主な内容	対象：定員	期間
	学習相談	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで、生涯学習に関する相談に応じる。	県民一般	常時
生涯学習情報提供	生涯学習情報提供システムの整備	新情報提供システムの利用状況、実用性、操作性を調査し、より使いやすいシステムづくりを図る。		常時
	生涯学習情報の収集・整理	コンピュータネットワークで提供する「講座・講演情報」「講師・ボランティア情報」「団体・グループ情報」等の更新と情報量の増加を図るとともに、分野によっては内容を精選し、広く広報を行う。		常時
	A Vコーナーの整備・運営	10台のビデオ用ブースで、郷土に関する映像や映画、アニメーション等を提供する。	県民一般	常時
	情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供する。	県民一般	常時
	センターだより（情報誌）等の発行	センターの事業等を紹介するために、要覧、リーフレット、情報誌等を作成し、関係機関等に配布する。	県民一般 関係機関	要覧 年1回 情報誌 年2回 リーフレット 随時

事業名	主な内容	対象：定員	期間	
視聴覚メディア活用学習の促進	視聴覚教材・機材の整備・貸出	視聴覚教材や機材の整備・貸出等を行い、学習活動を支援する。	県内の団体	常時
	視聴覚教育の普及・広報活動	視聴覚教育の指導者の養成に努めるとともに、16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、一般への視聴覚教育の普及を図る。 視聴覚教材目録を5,000部作成し、視聴覚教材の利用促進を図る。	教材利用団体	随時
	岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	県下の視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進を図る。	視聴覚ライブラリー職員	随時
	16ミリフィルムデジタル化事業	郷土岡山を紹介する貴重な16ミリフィルムの映像をデジタル化し、広く県民に公開するとともに、後世に映像資料として伝える。		
	講座の遠隔地配信	VODによる講座の遠隔地への配信	県民一般	随時

3 生涯学習大学の開設

事業名	主な内容	対象：定員	期間
生涯学習大学	県の特性を生かした講座を開設するとともに、多様な学習講座を体系化し情報提供する。さらに、学習成果を評価することにより社会参加の促進を図る。 (主催講座) ○現代的課題を学ぶコース（4講座） ○岡山県の特性を学ぶコース（2講座） ○生涯学習リーダー養成コース（1講座） (連携講座) 他の行政機関及び民間が主催する講座	県民一般 定員40名 定員40名 定員30名 県民一般 定員各講座ごと	年間
のびのびキャンパス塾	岡山県生涯学習大学の生涯学習リーダー養成コースの修了生が企画・運営する講座を開設する。	県民一般	年間

4 交 流

事業名	主な内容	対象：定員	期間
生涯学習「受講生の集い」	岡山県生涯学習大学の受講生に対し、証書の授与や学習成果発表の場を提供するとともに、著名人の講演を行い、生涯学習を県民にPRする。	受講生 県民一般 350人	2月
発表・展示・交流	展示スペース、交流ロビー等を生涯学習の成果の発表の場として提供する。	生涯学習関連団体 県民一般	随時

5 調査・研究

事業名	主な内容	対象：定員	期間
土曜日教育支援に関する調査・研究	土曜日教育支援を推進するため、プログラムづくりの調査研究を行う。	県内事業実施市町村	年間

6 施設・設備の提供

事業名	主な内容	対象：定員	期間
施設・設備の提供	県民に生涯学習センターの施設・設備を提供し、生涯学習を支援する。	関係機関 県民一般	常時
京山祭	生涯学習センターの施設の一部を開放し、体験や遊びのコーナーを設け、家族や仲間とのふれあいや交流の場を提供する。	県民一般	6月 11月

事業名	主な内容	対象：定員	期間
ばるスマイルDay	毎月第3土曜日に、ボランティアや各協力団体と協働して、子ども・親子を対象とした体験活動「ばるチャレンジ」、趣味や特技をいかした「ばるコンサート」、子ども向け映画会「ばるシアター」など、県民に体験活動の場とボランティア活動の場を提供する。 また、視聴覚室等を開放し、子どもや大人が楽しみながら映像に親しむとともに豊かな心と感性を育む場を設ける。	県民一般	原則毎月第3土曜日
施設ボランティア活動の促進	自己実現及び社会参加を目的に、自発的、自主的なボランティアとしての活動を促し、生涯学習センター、人と科学の未来館サイピアの運営機能の活性化を図る。	県民一般 60名程度	常時

7 科学教育の普及・推進

事業名	主な内容	対象：定員	期間
人と科学の未来館サイピアの運営支援 (指定管理者実施)	プラネタリウム投影 ドーム内イベント（コンサート、記念講演） 企画展示 科学実験教室等 学校学習の受入れ 子ども科学クラブ（天文・科学） 友の会 科学フェスティバル サイエンス・インストラクター パンフレット、チラシ、広報紙	県民一般 県民一般 県民一般 県民一般 小中学校等 会員 会員 県民一般 県民一般 県民一般	年間 年5回 年間 休日、夏休み等 随時（平日） 各年間9回 交流会年1回 会報誌年4回 夏期 養成講座年2回 随時
JAXAとの連携事業	JAXAとの事業連携に基づき、関係機関、団体や市町村教委等と連携を図り、学校教育及び社会教育支援事業を実施し、宇宙教育の振興を図る。 ○学校教育支援活動：県内3小学校を中心に計画 ○教職員研修支援活動：総合教育センター研修において計画 ○社会教育支援活動：コズミックカレッジ ：宇宙の学校 ：宇宙教育指導者セミナー ○パブリックビューイング ○タウンミーティング	県内3小学校 県内教員 県民一般 県民一般 県民一般 県民一般 県民一般	年5回 年1回 年1回 年5回 年1回
連携・協働型事業	県教育委員会や県高等学校工業教育協会との連携・協働により、魅力的な事業の誘致、共催実施等を図る。	県民一般	随時
専門委員会の開催	有識者等による専門委員会を開催し、休日向けの科学教室や平日の学校学習利用、プラネタリウムの運営内容などについて、専門的見地から意見を聴取し、各種施策に反映させる。		年2回

5 平成25年度事業実績

1 指導者の養成と研修

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習・社会教育関係職員研修 初任者研修	平成25年4月19日	<p>生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識の理解・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質向上を図った。</p> <p>◆第1回 ※岡山市新任公民館職員研修と兼ねる。</p> <p>【講義】「基礎から学ぶ生涯学習・社会教育の進め方～入門編～」 講師 岡山大学大学院 准教授 熊谷慎之輔</p> <p>【説明】「岡山県の社会教育の現状～生涯学習・社会教育関係職員として～」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 副課長 安田 隆人</p> <p>【情報提供】「ばるネット岡山について」 説明 岡山県生涯学習センター 振興課職員</p> <p>【実践発表】「勝央町の取組」 発表者 勝央町教育委員会 社会教育主事 三戸 祥恵</p> <p>【情報交換】</p>	96人
	平成25年5月9日 (県北会場) 平成25年5月10日 (県南会場)	<p>◆第2回 ※岡山市新任公民館職員研修、津山市公民館長研修と兼ねる。</p> <p>【説明】「親育ち応援学習リーダー養成について」 説明 (県北会場) 岡山県生涯学習センター振興課職員 (県南会場) 岡山県教育庁生涯学習課員</p> <p>【演習】「レッツトライ！家庭教育支援のすすめ ～親育ち応援学習プログラムの活用を通して～」 ファシリテーター (県北会場) 岡山市立上道公民館 主任 吉田 郁美 (県南会場) NPO法人子どもたちの環境を考えるひこうせん 代表理事 赤迫 康代</p>	(県北) 20人 (県南) 62人
生涯学習・社会教育関係職員研修講座 ステップアップ研修	平成25年6月20日	<p>現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、生涯学習によるまちづくりやコーディネーターに必要な担当者の資質向上を図った。</p> <p>◆中央研修</p> <p>【講義・実践発表】「人づくりをとおして地域を耕す～鳥根の取組から～」 講師 鳥根県教育庁社会教育課社会教育グループ 社会教育主事・サブリーダー 山本 芳正</p> <p>【演習】「『地域力』醸成プレゼンテーション大会」 ファシリテーター 岡山県生涯学習センター振興課職員 (助言) 鳥根県教育庁社会教育課 社会教育主事・サブリーダー 山本 芳正</p>	18人
	平成25年8月7日	<p>◆地区研修：備中地区</p> <p>【講話】「子どもたちの未来をはぐくむ家庭教育支援」 講師 九州女子大学 准教授 大島 まな</p> <p>【実践発表】「子育て家族の遊び場『ファミリア』 ～相談活動を通じた家庭教育支援～」 発表者 赤磐市家庭教育支援チーム チームリーダー 杉山 順子</p> <p>【実践発表】「『子育てCafe』を通じた支援の拡がり」 発表者 倉敷市保健福祉局子ども未来部子育て支援課 主任 三宅 健文</p> <p>【協議・情報交換】「家庭教育を支援する仕組みをいかにして形成するか ～社会教育にできることは何か」 ファシリテーター 九州女子大学 准教授 大島 まな</p>	47人
	平成25年10月17日	<p>◆地区研修：備前地区</p> <p>【実践発表】「地域の中で家庭教育支援～繋がり、共に育ち合う関係づくり～」 発表者 広島県尾道市向東地区家庭教育支援チーム“親ちから” 代表 緒方 恵理子</p> <p>【演習】「試そう！親育ち応援学習プログラム」 ファシリテーター 親育ち応援学習プログラム追加プログラム開発委員</p>	25人
	平成26年1月24日	<p>◆地区研修：美作地区</p> <p>【講演】「地元の人々が地元を支える仕組みとは」 講師 NPO法人吉備野工房ちみち 理事長 加藤 せい子</p> <p>【演習】「明日から自分ができることは？」 ファシリテーター NPO法人吉備野工房ちみち 地域ソムリエ</p>	56人

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
社会教育施設職員等 研修会 兼 岡山県公民館連合会 研修会 兼 視聴覚ライブラリー 担当者研修会①	平成25年5月31日 平成25年8月30日 県南会場 平成25年9月11日 県北会場 平成25年9月13日 平成26年1月30日	人づくりや地域づくりの拠点となる公民館等の社会教育施設職員が、映像を通じて施設や講座、地域情報を積極的に発信できるよう、基礎的知識・技能の研修を行い、その資質向上を図った。 ◆第1回研修会 【講演】「岡山映画塾～映画・映像による地域づくり」 講師 福島大学つくしまふくしま未来支援センター 特任准教授 天野 和彦 ◆第2回研修会 【演習】「岡山シネマ・ワークショップ～公民館の映画をつくろう！」 講師 脚本家、Fire Works取締役 栗山 宗大 ◆第3回研修会 【演習】「動画制作講座～映画づくりの基礎を学ぼう！」 講師 岡山県立大学デザイン学部 教授 嘉数 彰彦 ◆第4回研修会 【実践発表】「公民館発ふるさとムービー『祭囃子が聞こえるとき』」 発表者 movie OKAYAMA 山田 信和 【映画上映～脚本家によるスペシャルトーク】「ふるさとがえり」 講師 脚本家、Fire Works取締役 栗山 宗大	92人 37人 県南会場 22人 県北会場 16人 88人
公民館情報ネット ワーク事業	平成25年12月3日 ～平成26年2月25 日（4市町会場）	公民館からの情報発信能力を向上させるため、情報発信に関する戦略の立て方、SNS（フェイスブック作成）の基礎などについて研修を行うことができた。そのことで、ホームページ運用公民館数を増加させ、さらに、岡山県生涯情報提供システム「ばるネット岡山」と公民館ホームページをリンクさせ、県内の生涯学習情報ネットワークの構築を目指した。 (内容) 【講義・演習】情報発信の基礎、SNS（フェイスブック）について SNS体験、HPコンテンツ作成のポイント 【講師】 岡山県立大学デザイン学部 教授 嘉数 彰彦 岡山県生涯学習センター振興課員 【会場】 笠岡市民会館 [12月3日(火)、2月25日(火)] 久米南町中央公民館 [12月4日(水)] 浅口市役所 [12月18日(水)] 井原市中央公民館 [1月21日(火)]	29名 18名 7名 12名
教育支援活動コー ディネーター等研修 会（中央研修）	平成25年6月12日 平成25年8月1日 平成25年8月29日	おかやま子ども応援事業の教育支援活動を効果的に進めるために、地域において中心的な役割を担うコーディネーター等関係者の資質向上を図った。 ◆学校支援 【説明】「おかやま子ども応援事業（学校支援地域本部）について」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 指導主事（主任）小坂 宏治 【演習】「他者理解を深めよう！」（第Ⅰ部）（第Ⅱ部） 講師 岡山大学 キャリア開発センター 助教 中山 芳一 【情報交換】 ◆放課後支援 【説明】「おかやま子ども応援事業」 ～放課後子ども教室に関する情報について～ 説明 岡山県教育庁生涯学習課 総括副参事（社会教育班長）春名 章範 【講義】「地域活動の実践から高齢者の生涯発達を考える」 講師 高知大学 准教授 矢野 宏光 【実践発表・情報交換】子どもネットワークカフェ 「子どもたちの放課後をもっと楽しくしちやおう」 発表団体 ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会、学童保育指導員 ◆家庭教育支援 【説明】「おかやま子ども応援事業（家庭教育支援）について」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 社会教育主事（主任）東川 絵葉 【講義】「暮らしにくさ、学びにくさのある子ども達と家族を支えるために」 講師 ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学科 講師 青山 新吾 【講義・演習】「チャレンジ！子育て相談」 講師 岡山県青少年総合相談センター 所長 小林 英一	104人 35人 51人

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数	
How Toボランティア!! (学生ボランティア養成講座)	平成25年5月26日 ～平成26年1月26日(年9回)	ボランティア活動に興味・関心をもつ学生を対象に、活動に必要な知識、技術等を習得し、活動をととして学んだものを生かして、それぞれの地域や学校で活躍するリーダーの養成を行った。	38人	
		◆第1回 ・仲間づくり(アイスブレイク) 講師 岡山県レクリエーション協会 本郷 美智子 ・ボランティア活動のhow to!! 「ボランティアの世界へようこそ！」 講師 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授 松岡 広路		
		◆第2回 「救命救急法のhow to!!を学ぼう！」(AED講習) 講師 岡山市西消防署員		31人
		◆第3回 「宿泊研修」 ・支援教育の視点から 講師 教育庁特別支援教育課指導主事(主任) 近藤 英樹 ・学習プログラム体験 講師 国立吉備青少年自然の家職員 ・科学キッズフェスティバルについて 講師 振興課職員		20人
		◆第4回 生きる力応援プラン 県教育庁生涯学習課職員 「夢さがしの旅」 青少年教育施設職員 推進事業へ活動支援スタッフ参加		
		◆第5回 「生涯学習センターボランティアのhow to!」 講師 振興課職員		20人
		◆第6回 「科学キッズフェスティバルブース出展準備」 講師 振興課職員		16人
		◆第7回 「科学キッズフェスティバル参加!!」(ブース出展) 講師 振興課職員		12人
		◆第8回 「ばるスマイルDay体験!」 講師 振興課職員		4人
◆第9回 活動の振り返り 「ボランティアの世界はどうだった？」 講師 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授 松岡 広路	11人			
視聴覚ライブラリー担当者研修会①	平成25年5月31日	社会教育施設職員等研修会と兼ねて実施した。	92人	
	平成25年8月30日		37人	
	県南会場 平成25年9月11日		県南会場 22人	
視聴覚ライブラリー担当者会	県北会場 平成25年9月13日		県北会場 16人	
	平成26年1月30日		88人	
視聴覚ライブラリー担当者会	平成25年12月11日	◆担当者会 県下の視聴覚ライブラリー担当者が集まり、運営上の諸問題等を話し合い、視聴覚教育の推進に努めた。	11人	
視聴覚ライブラリー担当者研修会②	平成25年12月11日	◆視聴覚ライブラリー担当者研修会② 「視聴覚機器のワークショップ型接続研修～はじめてでも簡単!～」 「人と科学の未来館サイピア プラネタリウム投影システム概要紹介」 講師 岡山県生涯学習センター 振興課職員	7人	

2 学習相談・情報提供

事業名	実施期間	内 容 等
学習相談	年 間	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで生涯学習に関する相談に応じた。
生涯学習情報提供	生涯学習情報提供システムの整備	県内の生涯学習ポータルサイトとして、県内の関係教育機関が、データを入力、活用できるようIDの発行・「利用の仕方」についての研修等を行った。
	生涯学習情報の収集・整理	コンピュータネットワークで提供する「講座・講演情報」「学習施設情報」「視聴覚教材情報」「講師・ボランティア情報」「子ども向け情報」「子育て支援情報」等12分類の情報収集・整理に努めた。「講師・ボランティア情報」「学習プログラム情報」の更新を、県・市町村・各種団体等と連携して行った。
	AVコーナーの整備・運営	10台のAVブースで、郷土に関する映像やアニメーション映画等、1,500本の映像を提供した。
	情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供した。
	催し物案内（情報誌）等の発行	要覧（1,000部）、情報誌「生涯学習センターだより」（10,000部（6月）、10,000部（11月））、リーフレット等を作成し、関係機関に配付し、センター事業等の紹介をした。
視聴覚メディア活用学習促進	視聴覚教材・機材の整備、貸出	県内全域にわたる社会教育団体・学校等に対し、視聴覚教材・機材等の貸出をした。また、DVD 52作品を購入・整備し、視聴覚教材の整備に努めた。
	視聴覚教育の普及事業	16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、地域視聴覚ライブラリーや一般への視聴覚教育の普及に努めた。
	視聴覚教材広報活動	視聴覚教材目録を5,000部作成し社会教育団体・学校等へ配付した。また、「岡山県教育時報」や「生涯学習センターだより」等で教材の紹介を行った。
	岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	県下14視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進に努めた。
	16ミリフィルムデジタル化事業	平成25年10月 昭和30年代後半～50年前半に岡山県が企画した2本の貴重なフィルム映像「高梁川」「ふるさと岡山」を新たにデジタルアーカイブし、DVDとして保存し、県内視聴覚ライブラリー等に配付した。

3 生涯学習大学の開設

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習大学	年 間	<p>県の特性を生かした講座を行うとともに、他の行政機関や民間が行う多様な学習講座を体系化し、学習機会を提供した。</p> <p><主催講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実践コース（1講座） 「子どもの体験活動支援ボランティアリーダー養成講座 ～子どもとおとなの幸せな出会いを目指して～」 ○専門教養コース（3講座） 「心豊かにいきいきと生きる」 「現代天文学入門」 「60歳以降を生き生き楽しく過ごす為の『実践！今から始める体づくり』」 ○大学院コース（4講座） 「生涯学習の手引き（学習指導）」 「備中高梁学から考える社会とくらし」 「世界を知る、学ぶ、そして岡山は？」 「美作の歴史再発見」 <p><連携講座> 行政機関及び民間等が主催する講座を連携講座として協力いただいた。 講座数926講座</p>	<p>28人</p> <p>92人 37人 4人</p> <p>19人 34人 12人 26人</p>

4 交 流

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習「受講生の集い」	平成26年2月23日	生涯学習大学単位認定証書、修了証書、奨励証の授与、体験発表 記念講演 「映画を作りながら考えたこと」 アニメーション映画監督 高畑 勲	628人
発表・展示・交流	年 間	展示スペースを33団体に提供した。	

5 調査・研究

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
公民館実態調査	平成25年11月	県内の全公民館（本館）への調査を行い、公民館活動の実態を把握し、今後の公民館振興をより効果的に推進するための基礎資料を作成した。	

6 施設・設備の提供

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
施設・設備の提供	年 間	県民に生涯学習センターの施設・設備を開放したり、貸し出しをした。	
京山キッズ・ゾーン「京山祭」	平成25年6月2日 平成25年11月4日 平成26年3月15日	池田動物園と共同で、子ども向けのイベントを行った。 (※6月2日は「大学コンソーシアム岡山」と共催)	4,000人 3,900人 2,500人
ばるスマイルDay	平成25年4月20日 ～平成26年3月15日 (年9回)	体験活動を中心とした「ばるチャレンジ」、演奏を中心とした「ばるコンサート」、映画会を中心とした「ばるシアター」を行った。	延2,362人

7 科学教育の普及・推進

(ア) JAXAとの連携事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
学 校 教 育 支 援	授業支援	平成25年7月3日 【内容】・国際宇宙ステーションが作られた経緯・状態・活動内容について ・真空実験 講師 JAXA宇宙教育センター センター長 広浜 栄次郎 JAXA宇宙教育センター 主事 石川 由紀	96人
		平成25年9月26日 【内容】・宇宙食の特色や種類について ・宇宙食の試食 講師 JAXA宇宙教育センター 主査 小野瀬 正道	96人
		平成25年11月25日 【内容】・小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」について 講師 JAXA宇宙科学研究所 准教授 吉川 真	96人
教員研修支援	平成25年11月8日 (総合教育センター)	【内容】・倉敷市立南中学校による実践発表 ・太陽電波観測（講義・観測・観測データ分析） ・宇宙教育について ・JAXA学校連携事例紹介 ・教材紹介 講師 JAXA宇宙教育センター センター長 広浜 栄次郎 JAXA宇宙科学研究所 朝木助教	14人
社 会 教 育 支 援	宇宙教育指導者セミナー（ベーシックコース）	平成25年11月3日 センター大研修室 【内容】・開校式 ・宇宙教育について ・教材開発の視点 ・安全について ・教材演習 ・閉校式 講師 宇宙教育センター アドバイザー 遠藤 純夫	40人
	コズミックカレッジ	平成25年11月4日 【内容】「宇宙ってどんなところ」「探査機ローバーでミッションをクリア」 講師 JAXA宇宙教育センター 鈴木 圭子 (※科学キッズフェスティバル in 京山祭で開催)	150人
	はやぶさを体験しよう！君もチャレンジ	平成25年11月4日 【内容】開発中の衛星シミュレーションソフトの紹介・体験 講師 JAXA宇宙教育センター 土谷 光弘 宇宙技術開発株式会社 新山 司 (※科学キッズフェスティバル in 京山祭で開催)	144人

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
家庭教育支援	宇宙の学校	平成25年6月30日 第1回【内容】・開校式 ・熱気球 講師 JAXA宇宙教育センター センター長 広浜 栄次郎 KU-MAスタッフ 市川 哲彦	145人
		平成25年8月25日 第2回【内容】・フィルムロケット ・葉脈標本作り 講師 KU-MAスタッフ 百瀬 一郎	121人
		平成25年12月8日 第3回【内容】・空気を体感しよう ・風見鶏 ・レポート発表練習 講師 KU-MAスタッフ 遠藤 康弘	120人
		平成26年1月26日 第4回【内容】・ペーパースチロールで飛ぶものを作ろう ・宇宙の話 ・レポート発表会 ・閉校式 講師 KU-MA名誉会長 的川 泰宣 KU-MAスタッフ 遠藤 康弘	110人

(イ) その他の事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
夏休み子ども科学教室	平成25年7月20日 ～21日	◆京セラグループ環境出前教室 【内容】太陽電池を題材として地球環境について学ぶ 講師 京セラ株式会社 川井 龍樹、新居 諒子	70人
	平成25年7月27日	◆ラジオ工作教室 【内容】・簡易ラジオ作り 講師 日本アマチュア無線連盟岡山県支部	42人
	平成25年8月10日	◆星を見る教室 【内容】・プラネタリウム鑑賞 ・天体望遠鏡の使い方 ・夏の星座、今年の日体ショー ・天体観測 講師 国立吉備青少年自然の家所長 小林 道正	35人 (10家族)
学校利用の促進	平成25年8月8日・ 平成25年8月23日	◆サイピア学校学習利用研修会 【内容】・館内見学 ・学習プログラム説明 ・サイエンスショーの実際 ・プラネタリウム番組紹介 講師 振興課職員 人と科学の未来館サイピア職員	21人 6人
	平成25年10月1日 ～29日	◆サイピア学習利用見学会 【内容】・プラネタリウム学習投影見学 ・サイエンスショー見学	延8人
パブリックビューイング	平成25年8月4日	◆H-II Bロケット打ち上げ	46人
	平成25年8月27日	◆イプシロンロケット打ち上げ（当日中止）	130人
	平成25年9月14日	◆イプシロンロケット打ち上げ	230人
	平成25年11月7日	◆ソユーズロケット打ち上げ	40人
	平成26年2月28日	◆H-II Aロケット打ち上げ	8人
高等学校関連事業	平成25年12月1日	◆ジャパンマイコンカーラリー中国予選会 【内容】・Advanced Classの部 団体戦・個人戦 ・Basic Classの部 個人戦	331人
	平成25年12月26日	◆きらり輝け！岡山さんフェア 2013 【内容】・研究発表 ・ファッションショー ・体験コーナー ・各学科の展示 ・ロボットのデモンストレーションと展示 ・県指定事業展示 ・展示即売	1300人
	平成25年1月18日	◆2014高校生フォーラム 【内容】・研究発表 ・公演「スーパーカーの名門フェラーリ社に選ばれた技能と機会」 安田工業株式会社 高度熟練技能者 児玉 繁光	500人

8 施設設備の利用状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(ア) 情報創作棟利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	17	14	12	20	16	10	19	16	11	11	19	12	177
大研修室	19	25	25	24	25	18	23	24	23	26	25	25	282
洋研修室	11	13	14	16	21	12	15	14	10	13	12	16	167
和研修室	8	14	16	13	9	18	19	14	11	13	12	13	160
ミーティング室1	23	32	27	30	30	26	31	32	25	27	23	25	331
ミーティング室2	27	35	28	32	33	30	32	35	31	34	33	27	377
ミーティング室3	20	23	24	25	24	24	25	21	17	24	20	23	270
ミーティング室4	21	31	23	29	22	29	27	27	16	19	23	19	286
ミーティング室5	5	18	10	16	28	19	23	13	11	23	21	22	209
美術教室	5	13	13	12	13	10	17	9	10	10	14	11	137
木工教室	5	8	10	8	10	8	12	6	5	6	4	5	87
陶芸教室	9	17	18	14	13	8	17	8	8	9	11	7	139
書道教室	15	28	23	25	25	23	27	13	20	15	16	10	240
パソコン教室1	3	5	4	6	5	3	8	8	2	5	5	1	55
パソコン教室2	5	6	8	8	10	6	8	12	5	7	5	6	86
ボランティア室	20	22	26	23	23	23	26	27	20	26	26	27	289
録音録音スタジオ	2	5	6	3	5	2	3	4	5	1	10	7	53
試写室	9	14	13	14	19	14	15	15	10	14	8	9	154
編集室			3		3			1			1		8

(イ) 交流棟利用（施設貸出）

(日)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
交流棟展示スペース	12	10	8	18	21	13	18	24	15	21	18	21	199

(ウ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設貸出）平成25年4月29日開館

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスドーム				1								1	2
科学体験・学習広場			13	11		11	42	14	4		6	5	106
企画展示室			2										2
プロデュースセンター			1										1

(エ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設入館等）平成25年4月29日開館

(人)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイピア入館者数	1,587	10,080	9,883	10,622	14,438	7,403	8,349	7,273	6,666	5,777	4,875	7,278	94,231
サイエンスドーム観覧者数	414	2,683	3,518	3,950	6,457	3,153	4,242	2,587	1,050	1,024	969	1,811	31,858

9 生涯学習情報提供システム（ぱるネット岡山）

(ア) データ保有数

(平成26年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・講演	84,993	団体・グループ	2,860	講師・ボランティア	784	視聴覚教材	6,087
施設・文化財	3,952	資 格	1,011	学習相談窓口	125	学習プログラム	1,039
学習相談事例	97	合 計					100,948

(イ) 利用状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・講演	19,032	団体・グループ	1,126	講師・ボランティア	4,573	視聴覚教材	5,392
施設・文化財	2,539	資 格	735	学習相談窓口	130	学習プログラム	912
学習相談事例	126	合 計				34,565	

10 学習相談件数

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
講座	12	施設・設備	1,148	資格取得	5	1,232
講師	37	その他	30			

11 A Vコーナー

(ア) ソフト保有本数 (LD・DVD)

(平成26年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
郷土に輝く人々 市町村紹介ビデオ	56	アニメ	329	洋画	382	1,500
邦画	215	音楽	58	その他	460	

(イ) 利用状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

種 別	LD教材	DVD教材	CD・ビデオ	合 計
回 数	214	5,154	53	5,421

12 視聴覚教材コーナー

(ア) 保有本数

(平成26年3月31日現在)

16ミリ映画	ビデオ教材	DVD教材	合 計
2,298	3,263	823	6,384

(イ) 貸出状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用本数(本)	DVD教材	71	70	189	136	130	74	118	131	112	69	43	25	1,168
	VHS教材	17	62	79	71	74	48	72	51	67	52	24	19	636
	16ミリ映画	2	1	0	4	10	1	1	2	4	1	1	1	28
	計	90	133	268	211	214	123	191	184	183	122	68	45	1,832
閲覧者数(人)	DVD教材	2,732	6,504	16,798	7,175	9,563	6,965	13,993	10,514	9,323	5,891	3,277	1,488	94,223
	VHS教材	1,612	5,284	5,093	5,819	2,361	5,419	7,301	4,123	4,872	3,169	2,351	1,876	49,280
	16ミリ映画	81	49	0	542	690	88	29	100	128	44	99	61	1,911
	計	4,425	11,837	21,891	13,536	12,614	12,472	21,323	14,737	14,323	9,104	5,727	3,425	145,414

13 図書・ブラウジングコーナー

図書所蔵冊数

(平成26年3月31日現在)

区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数
一般図書	20,000	生涯学習関連資料	7,050	購入雑誌	21タイトル	購入新聞	6紙
(うち鳥城高等学校図書)	8,000						

6 関係条例及び規則

岡山県生涯学習センター条例

平成8年12月24日
岡山県条例第39号

(目的及び設置)

第1条 県民の生涯にわたる学習活動(次条において「生涯学習」という。)の振興を図るため、岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)を岡山市に設置する。

(業務)

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 生涯学習指導者の養成及び生涯学習関係者の研修
- (2) 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに生涯学習相談
- (3) 生涯学習に関する講座の開設
- (4) 生涯学習に関する調査及び研究
- (5) 科学に関する学習の機会の提供
- (6) センターの施設及び設備(以下「施設等」という。)の提供
- (7) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的の達成に必要な業務

(開所時間及び休所日)

第3条 センターの開所時間及び休所日は、教育委員会規則で定める。

(指定管理者による管理)

第4条 センターの管理に関する業務のうち次条に規定する業務は、第13条第1項の規定により岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の維持管理に関すること。
- (2) 施設等の利用の許可に関すること。
- (3) 施設等の提供に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの運営に関し教育委員会が必要と認める業務

(利用等の許可)

第6条 センターにおいて次に掲げる行為をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 別表の1から3までに掲げる施設等の利用
- (2) サイエンスドームにおける天体運行等の投影の観覧
- 2 指定管理者は、センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。
- 3 指定管理者が別に定める観覧券により観覧しようとする者については、第1項第2号の観覧に係る許可を受けたものとみなす。

(入所の制限等)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、センターへの入所を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) 公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがある者
- (2) 施設等を損傷するおそれがある者
- (3) 施設等の利用が、集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体の利益になると認める者
- (4) その他センターの管理上支障があると認める者

(許可の取消し等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、第6条第1項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者
- (2) 偽りその他不正な手段により第6条第1項の許可を受けた者
- (3) 第6条第2項の条件に違反している者
- 2 指定管理者は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、第6条第1項の許可を受けた者(次条において「利用者」という。)に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

(利用料金)

第9条 第6条第1項の許可を受けた行為に係る料金(以下この条において「利用料金」という。)は、指定管理者にその収入として収受させる。

- 2 利用料金は、別表に掲げる基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。
- 3 利用者は、指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が別に納期を定めたときは、この限りでない。
- 4 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を受け、利用料金を減免することができる。
- 5 納付した利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰することができない理由により許可を受けた施設等を利用することができなくなったときその他指定管理者が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第10条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

(指定管理者の公募)

第11条 教育委員会は、指定管理者の指定をしようとするときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。

(指定管理者の指定の申請)

第12条 指定管理者の指定を受けようとするものは、センターの管理に係る事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会に申請しなければならない。

(指定管理者の指定)

第13条 教育委員会は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画の内容が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
- (2) 事業計画の内容がセンターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。

(4) その他センターの業務を効果的に行うため教育委員会が必要と認める基準に適合するものであること。

2 教育委員会は、前項の規定による指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

(事業報告書の提出)

第14条 指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

(業務報告等)

第15条 教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第16条 教育委員会は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

2 教育委員会は、前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨を告示するものとする。

(教育委員会規則への委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例別表（第6条、第9条関係）

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1 施設（情報創作棟施設、人と科学の未来館サイピア施設） | } (表略) |
| 2 冷暖房設備（情報創作棟冷暖房設備、人と科学の未来館サイピア冷暖房設備） | |
| 3 設備金額（液晶プロジェクター等） | |
| 4 観覧料（人と科学の未来館サイピア観覧料） | |

岡山県生涯学習センター条例施行規則

〔平成8年12月24日
岡山県教育委員会規則第19号〕

(趣 旨)

第1条 この規則は、岡山県生涯学習センター条例(平成8年岡山県条例第39号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開 所 時 間)

第2条 岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)の開所時間は、次のとおりとする。

区 分		開所時間
児童遊園地		午前9時から午後5時まで
その他の区域	火曜日から土曜日まで(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。)	午前9時から午後9時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、開所時間を臨時に変更することができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(休 所 日)

第3条 センターの休所日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が休日に当たるときを除く)
- (2) 休日の翌日(その日が休日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、休所日に開所し、又は臨時に休所日を定めることができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(天体運行等の投影の回数等)

第4条 サイエンスドームにおける天体運行等の投影の回数及び開始時刻は、指定管理者(条例第4条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。

(利用の許可の申請)

第5条 条例第六条第一項の規定により、条例別表に掲げる施設若しくは設備(以下「施設等」という。)の利用の許可又は許可を受けた事項の変更の許可を受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(利用者等の遵守事項)

第6条 条例第六条第一項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。利用者の行う行事等のために入所する者も、同様とする。

- (1) 利用の許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
- (2) 利用の許可を受けた設備以外の設備を利用しないこと。
- (3) 火災、盗難等の事故の発生予防に留意すること。
- (4) センターの職員又は指定管理者の指示に従うこと。
- (5) その他教育委員会又は指定管理者が必要と認める事項

(損壊の届出等)

第7条 利用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに教育委員会又は指定管理者に届け出てその指示に従わなければならない。

(利用の終了の届出)

第8条 利用者(条例第6条第1項第2号の観覧に係る許可を受けた者を除く。)は、施設等の利用を終了したときは、速やかに指定管理者に届け出なければならない。

(視聴覚教材等の貸し出し)

第9条 視聴覚教材及び視聴覚機材の貸し出しは、生涯学習の目的のために利用する場合に限り、行うものとする。

2 前項の貸し出しを受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会、所長又は教育委員会の承認を受けて指定管理者が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

施設等利用料金表 (平成26年4月1日～)

<情報創作棟施設・設備利用>

(単位：円)

区分 施設・設備等 (定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)	
視聴覚室	72人	261㎡	1F	5,400	7,200	5,400	14,300	14,300	21,500	630	530	
大研修室	150人	261㎡	2F	5,000	6,700	5,000	13,400	13,400	20,100	630	530	
洋研修室	12人	33㎡	3F	800	1,100	800	2,200	2,200	3,300	80	60	
和研修室	8畳	33㎡	3F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	80	60	
ミーティング室①	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,300	70	50	
ミーティング室②	12人	22㎡	2F	500	600	500	1,200	1,200	1,800	50	40	
ミーティング室③	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,300	70	50	
ミーティング室④	18人	40㎡	4F	700	1,000	700	1,900	1,900	2,900	90	80	
ミーティング室⑤	26人	58㎡	5F	1,000	1,400	1,000	2,800	2,800	4,100	130	110	
美術教室	35人	80㎡	3F	2,800	3,700	2,800	7,500	7,500	11,200	390	310	
木工教室	8人	39㎡	3F	900	1,200	900	2,500	2,500	3,700	90	70	
陶芸教室	24人	39㎡	3F	800	1,000	800	2,100	2,100	3,100	90	70	
書道教室	32人	66㎡	3F	1,200	1,600	1,200	3,200	3,200	4,700	150	130	
パソコン教室①	40人	116㎡	4F	7,100	9,500	7,100	18,900	18,900	28,400	270	220	
パソコン教室②	20人	66㎡	4F	3,000	4,000	3,000	8,000	8,000	11,900	150	130	
ボランティア室	18人	40㎡	4F	700	1,000	700	1,900	1,900	2,900	90	80	
録画・録音 スタジオ	録画	-	116㎡	5F	4,500	6,000	4,500	11,800	11,800	17,900	270	220
					録音	2,500	3,300	2,500	6,600	6,600	9,900	270
試写室	18人	66㎡	5F	1,400	1,800	1,400	3,600	3,600	5,500	150	130	
編集室	-	21㎡	5F	600	700	600	1,500	1,500	2,300	50	40	
放送設備				一式1時間につき 380円 (交流棟に保管しているもの)								
資料提示装置				一式1時間につき 140円 (大研修室)								
液晶プロジェクター				一式1時間につき 230円 (大研修室)								
茶道具				一式1時間につき 690円 (和研修室)								
ピアノ				一式1時間につき 980円 (録画・録音スタジオ)								
陶芸窯				一台1時間につき 890円								

<人と科学の未来館サイピア施設利用>

区分 施設・設備等 (定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)
サイエンス ドーム	132席	176㎡	2F	49,000	65,300	49,000	130,700	130,700	196,000	1,160	1,090
				8,500	11,400	8,500	22,700	22,700	34,100	1,160	1,090
科学体験・学習広場	-	237㎡	1F	5,600	7,400	5,600	14,800	14,800	22,200	410	310
企画展示室	-	101㎡	2F	2,000	2,700	2,000	5,400	5,400	8,100	170	130
プロデュースセンター	-	70㎡	1F	1,700	2,200	1,700	4,400	4,400	6,700	120	100

※12:00～13:00及び17:00～18:00の使用料の額は13:00～17:00の使用料額の1/4の額とする。(10円未満切り上げ)

※1時間未満の時間は1時間として計算する。

冷房期間：6月1日～9月30日、暖房期間：12月1日～3月31日

特例期間：上記冷暖房期間の前後2週間程度 (工事などのため、冷暖房の利用ができない場合がある。)

<人と科学の未来館サイピア観覧料>(1人1回につき)

区分	観覧料	割引料金
一般 (65歳未満)	520	470
一般 (65歳以上)	310	260
高校生	300	240
小学生・中学生	100	80
小学生未満	無料	無料

※友の会会員年度内6回目以降の観覧、団体利用(30名以上)及びももっカード利用による観覧の場合は割引料金を適用する。ただし、特別投影及びイベント等を除く。

